

## 第6回 P I 外環沿線協議会（概要メモ）

1. 日 時：平成14年9月3日（火） 午後7時00分～9時00分
2. 会 場：都庁第一庁舎5階 大会議場
3. 出席者：27名  
 関係者（敬称略）  
 須山 直哉（練馬）、武田 佳登（練馬）、湯山 茂（練馬）、宿澤 藤子（杉並）  
 本橋 又藏（杉並）、濱本 勇三（武蔵野）、村田 あが（武蔵野）、川瀬 春吉（三鷹）  
 新 守一（三鷹）、米津 鐵雄（三鷹）、川原 主計（調布）、小林 充夫（調布）  
 渡辺 俊明（調布）、石井 一成（狛江）、橋本 妙子（狛江）、江崎美枝子（世田谷）  
 栗林 勝彦（世田谷）  
 地元自治体  
 水上 英昭（練馬区部長）、倉田 征壽（杉並区部長）、伊藤 隆造（武蔵野市部長）  
 鈴木 忠（調布市部長）、大貫 浩司（狛江市部長）、栗下 孝（世田谷区部長）  
 国土交通省・東京都  
 大寺 伸幸（関東地方整備局道路企画官）、伊勢田 敏（関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所長）  
 成田 隆一（東京都外かく環状道路担当部長）、宮良 眞（東京都外かく環状道路担当課長）

4. 傍聴者：約40名

5. 概 要：

## 【首都圏の交通の現状と課題について】

（主な意見）

- ・NO<sub>2</sub>の測定局の所在地を詳しく知りたい。装置の設置場所により数値が変わってくる。
- ・抜け道の写真に、あたかも渋滞しているような写真を使っているのはおかしい。

## 【協議会の進め方について】

（主な意見）

- ・資料に対する意見が言い放しになっている。論議はいつ行うのか。
- ・討議をいつするのか全然わからない。どう進めていくのか説明が必要。
- ・協議員それぞれの立場でどういう論議をした方がいいか、各協議員から意見を出してもらわなければならない。

## 【協議員からの提案に対する意見について】

（主な意見）

- ・外環について反対とか賛成とかでなく、どう咀嚼すべきかが重要である。
- ・人口は減っても、その割合だけ車は減らないと考える。
- ・傍聴者の意見を聞くこともP I 外環沿線協議会の趣旨にあると思う。
- ・東京都や国は、都市に集中するこの現状をどう考えているのか。
- ・都市づくりと交通政策は外環と結びつくのか疑問である。
- ・外環ができたときに都市がどうなるか。どう改善されるかという点について議論ができればいいのではないか。
- ・P I 外環沿線協議会の場で都市づくりまで議論を進めることがいいものかどうか。
- ・交通問題と外環といったことも議論を進めてはどうか。
- ・首都圏の交通の現状と課題について、まだ議論は終わっていないのではないか。
- ・議論すべきテーマについて、協議員からも意見を聞くべきである。

## 【その他】

- ・資料に記載される個人情報の取り扱いについては、十分に配慮して取り扱うべき。
- ・7区市沿線の住民の意見が大事であり、その辺をどのように酌みとっていくのか。
- ・P I 外環沿線協議会で議論をしている最中に、都知事は首都高や外環が必要だと発言することはおかしい。

## 【確認事項】

- ・傍聴者に対してのアンケートは、住所、氏名等を記入し、責任を持った意見がでるように工夫し実施していくこととなった。
- ・次回は、9月19日（木）午後7時より、栗林協議員の意見書について、沿線住民等の意見の把握方法について、必要性の有無について、全体の進め方について討議及び説明を行うこととなった。

## 第7回 P I 外環沿線協議会（概要メモ）

1. 日 時：平成14年9月19日（木） 午後7時00分～9時00分

2. 会 場：都庁第一庁舎5階 大会議場

3. 出席者：23名

関係者（敬称略）

武田 佳登（練馬）、湯山 茂（練馬）、宿澤 藤子（杉並）、本橋 又藏（杉並）  
濱本 勇三（武蔵野）、村田 あが（武蔵野）、川瀬 春吉（三鷹）、新 守一（三鷹）  
米津 鐵雄（三鷹）、小林 充夫（調布）、渡辺 俊明（調布）、橋本 妙子（狛江）  
秋山 光男（世田谷）、江崎美枝子（世田谷）、栗林 勝彦（世田谷）

地元自治体

倉田 征壽（杉並区部長）、伊藤 隆造（武蔵野市部長）、柴田 直樹（三鷹市部長）  
鈴木 忠（調布市部長）

国土交通省・東京都

大寺 伸幸（関東地方整備局道路企画官）、伊勢田 敏（関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所長）  
成田 隆一（東京都外かく環状道路担当部長）、宮良 眞（東京都外かく環状道路担当課長）

4. 傍聴者：約50名

5. 概 要：

### 【P I の進め方について】

（今後についての提案について）

- ・「都市づくり」が削除されたのは疑問。
- ・整備した場合の影響ばかりでなく、整備しなかった場合の影響についても議論すべき。
- ・この項目以外にやるべきことについて、協議員から意見を聞くべき。

（オープンハウスについて）

- ・オープンハウスで行う内容が明確でない。
- ・オープンハウスをやる場合は、P I 外環沿線協議会で議論してからにすべき。
- ・外環について知らない人への情報提供、いろいろな方からの意見の把握という点でオープンハウスは意味がある。
- ・オープンハウスについては、P I 外環沿線協議会の議題にすべきでない。もっと議論すべきことがある。
- ・オープンハウスでは、いただいた意見を誰がいつどのようにして返すのか答える必要がある。
- ・住んでいる地域などの属性を把握して、意見を整理する際に使えるようにすべき。
- ・オープンハウスは、継続して1ヶ月から2ヶ月くらいは最低限すべき。
- ・P I 外環沿線協議会での議論内容についてオープンハウスで情報提供していくべき。
- ・オープンハウスについては、このP I 外環沿線協議会の場ではなく、次回までの間に「P I 外環協議会（仮称）設立に向けた確認内容」を取り交わした準備会のメンバーで調整すべき。

### 【首都圏の交通の現状と課題について】

（主な意見）

- ・通過交通のデータについては、今回示されている数値と東京都でまとめている既出の数値が違うのではないか。

### 【その他】

- ・傍聴者アンケートについては、事務局案で実施することで了承された。
- ・進め方については、「今後についての提案」とおりし、項目などについての意見があれば次回協議会開催前までに事務局へ連絡することとした。
- ・次回は、10月1日（火）午後7時より、進め方についての確認、必要性の有無（効果と影響）について討議することとなった。